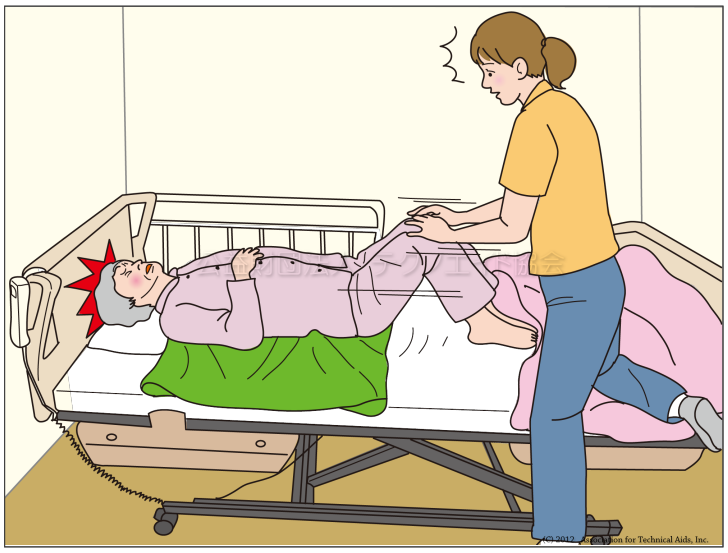
Case：209

勢いよく押してしまったため、頭をぶつけそうになる

場面の説明

介助者が普段通りの力で動かしたため、利用者が勢いよくすべり、ベッドのボードに頭がぶつかってしまった



利用シーン	起居・就寝 移乗
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	123306 (体位変換用シーツ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

この事例では、介助者はスライディングシートの使用に慣れておらず、普段通りの力加減で押してしまったそうです。はじめて福祉用具を使う際には、その製品の特長をよく理解して、必要に応じて練習を行うなどの準備をすることが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：こんなにもすべるとは想定していなかった
人：練習不足の状態で使用した
モノ：安全に対する注意書きが取扱説明書に書かれていなかった
管理：安全な使い方を教えてくれる人がいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.